



# ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和7年3月19日  
文責：校長 江上 知男



## 「最後の授業」卒業式を挙行します！



3月21日(金)に、本校卒業式を挙行します。80名の子どもたちが嘉島西小学校を卒業していきます。今年度も、地域の代表の方々に見守っていただいての卒業式となります。学校としては、「子どもたちの『心が見える』ような卒業式」にしたいと考え、準備を重ねているところです。

さて、私たち教職員は、卒業式を「最後の授業」と考えています。卒業式の全ての瞬間が、卒業生の「学びと感謝の場」になれば嬉しいです。当日は、病気療養中の上村先生も、「卒業担任」として出席します(6年生及び職員の願い)。また、在校生代表として5年生が出席し、「お祝いの気持ち」を伝えてくれます。出席者全員で、卒業生の「巣立ち」を見届けたいと思います。私も、大好きな6年生に向けて、心を込めて「証書」を渡し、「式辞」を述べさせてもらいます。

ところで、6年生の通知表をすべて読ませていただきました。まさに「担任から一人ひとりの子どもたちに向けた『ラブレター』」だと感じました。心が温かくなりました。一部抜粋・要約です。

- 困っている友達へさりげない気遣いができる、今すべきことを判断して率先して行動できます。
- 誰に対しても公平に関わり、その優しさが周囲の友達に伝わり、周りの人も優しくなります。
- 周囲をリードする行動力と思考力を高め、常に前向きな姿勢で友達と接することができます。
- 指示される前に自分で考えて行動することができ、常に友達を思いやる態度がとれます。
- 給食片付けを手伝ったり、給食台の下に落ちた食材を拾ってくれたりする優しさの持ち主です。
- 自ら手順を考え汚れている場所を見つけて掃除したり、スリッパ並べを毎日行ったりしました。

時間が過ぎていくことを表す時に、よく「光陰矢の如し(こういんやのごとし)」と表現しますが、本当に月日の流れは早いものです。今年度も、24日(月)の修了式(1~5年)、28日(金)の退任式を残すのみとなりました。この1年は特例任用ということで、私にとっては「チャンス」をいただいた時間でした。校長として懸命に学校運営に取り組んできたつもりであります。何分「力不足」のため、保護者や地域の皆さまの期待に十分応えることができなかつたと、大変申し訳なく思っております。

本校は、本当に素晴らしい学校です。何校も渡り歩いてきた私が言うのだから、間違ひありません。PTAの役員さんたちが、とても主体的に活動されていることは心強いですし、先生たちに対する「感謝の言葉」「励ましの言葉」をたくさんいただくこともあります。多くの先生は、「この学校でもっと力を発揮したい」「なるべく長く勤務したい」と思っています。しかし、それだけではありません。

それは、地域の方々が「学校のことをとても大切に思っておられる」ことです。そして、「学校と共に地域課題を解決したいと考えておられる」ことです。「150周年記念事業」をとおしても、強く感じさせられました。これからも、卒業した方々が「本校を心のよりどころ」としていただけるよう、職員一同歩みを続けるのだと確信します。今後、私も「職員OB」として、陰ながら応援させていただきます。

3年間の「学校便り担当」は、どうとうお役御免です。お付き合いいただき、ありがとうございました。